

ゴッホがから

広報



シンボルマーク



毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

冬の夜空にメッセージ

「冬の夜空にメッセージ」をテーマとする、イルミネーションの点灯式が十一月二十四日、ホテルサンルート五所川原前に於て、関係者と保育園児ら約五十人が参加して行われました。

これは、「音と光の祭典」の一環としてイルミネーションを設置。魅力ある夜の景観をつくり出し、活力ある街づくりを目標に、市観光協会（丸海老祐造会長）が昨年から行っているもので、本年は大町、本町、布屋町に二十一本のイルミネーションを設置しました。

この日は、雪の降る寒さの中、丸海老会長、佐々木榮造市長、各商店街代表らと保育園児の福井章二君が点灯スイッチを押すと、冬空にイルミネーションが色鮮やかに浮かび上がりました。このイルミネーションは、来年一月末まで点灯され五所川原の夜を彩ることになります。

また、十二月二十四日にはジャズ及びフュージョンの「魅惑のコンサート」が行われることになっています。

平成3年

12.15 No.749

人口と世帯

		前月比
男	23,721	(+23)
女	26,449	(+41)
計	50,170	(+64)
世帯数	16,459	(+41)

(10月31日現在 住民基本台帳)

興そう一

このコーナーは、市誘致企業として立地した企業を広く市民の皆様方に知って戴くためのコーナーです。就職の際は是非参考にして戴ければと思います。なお、ご家族又は知人の方で首都圏で働いている五所川原市出身者でUターン就職希望される方は、市総務部工業振興対策室(☎35-2111 内290)へご相談下さい。



誘致企業第七号

株式会社メンズ・ピアレス

(立地・昭和六十三年四月)

所在地 市内大字
代表者 代表取締役社長 奥田 敏光

設立年月 昭和六十三年五月

資本金 一千万円

従業員数 六十五名

事業内容 紳士スラックス

工場は、奥田グループ県内六工場の一つとして五番目に設立された紳士スラックス専門の縫製工場です。

社員からのひびく

工藤 直 栄さん (三十歳)

私はメンズ・ピアレスに入社して三年目になります。



初めは、縫製なんか女性の仕事だ、縫い子だという暗いイメージで思ってたんですが、実際仕事してみてもまったくそんなイメージがふき飛んでしまいました。ミシンも自動機がいっぱいでハンガーシステムを導入する等オートメーション

一日生産七百本を目標として、高品質、納期厳守をモットーに社員一同一丸となつて頑張っています。QCサークル、班ミーティング、お食事会、ボーリング大会等いろいろな行事を行っており、社員とのコミュニケーションを取り、明るい職場、楽しい職場づくりに努力しています。日本のアパレル生産は今、二十一世紀の物づくりへ向けて羽ばたこうとしています。その最大のポイントが、原点志向ということにあります。

ことの再発見であり、そのことは縫製技術そのものの再発見でもあると思います。私達日本人は、明治維新百二十年余りを経てようやく服づくりの本質が見えるようになったと言われています。いつをどのようにつくればいいのか、と言った物づくりのための五W1Hが解明できるようにしたので。感性とテクノロジーが融合すべき地球時代の物づくりを通じて人間くささのあふれる工場にしていきたいと思ひます。

化し、職場内には有線を通して、そのリズムにのって楽しく仕事をしています。

今では、かなりベテランの仲間に入ったと思ひます。私が縫ったズボン誰が着用するのかな、売れるのかな？という不安があります。しかしこれからも、良い製品づくりを目指し会社に貢献していきたいと思ひます。

市誘致企業紹介

—若者は地域に残り地域を

誘致企業第八号

日本通運株式会社五所川原支店

(立地・昭和六十三年七月)

所在地 市内漆川字鍋懸一
五一〇二三(漆川工業団
地) 本社 東京都千代田区
資本金 六九八億二千七百
万円



代表者 支店長

小笠原久美

事業内容 運送業

支店売上高

十七億九千万円

従業員数 八十四名

支店の沿革

昭和二十年四月 五所川

原通運(株)と統合し日本通運

株五所川原支店開設

昭和四十年四月 青森支

店五所川原営業所(機構改

正)

昭和六十三年七月 物流

センター建設用地取得

平成元年一月 冷凍冷蔵

庫竣工

平成元年五月 日通ペリ

カン便センター竣工

平成元年十月 定温倉庫

竣工

平成三年十月 五所川原

支店へ昇格、営業倉庫竣工

(物流センター完成)

当支店は、漆川工業団地

に、有限会社吉村運送と同

時に進出しました。

陸・海・空の総合物流企

業として、地域産業の一役

を担う、という企業の使命

に徹すべく物流センター建

設に着手、今般初期計画の
すべての施設が完成いたし
ました。

物流コスト低減等お客様
のニーズをいち早く取り入
れ、地域経済発展のため、
従業員一丸となって寄与す
る所存です。

今後とも市民の皆様のお
たたかひご支援ご協力をお
願ひ申し上げます。
われらのことは

(社訓)

○運輸の使命に徹して社会
の信頼にこたえる。

○業務の改善を図って社運
の発展につとめる。

○心身を健全に保って明朗
な生活をいとむ。

社員からのひょうげん

三上 永道さん (二十三歳)



将来、何かに挑戦してい
けるような環境で仕事をし
てみたいという気持ちで、日
本通運を就職先に選び入社
いたしました。初めは期待
よりも不安のほうが大きか
ったように思いました。

方に囲まれて楽しく働いて
います。私の所属するペリ
カン課では、直接お客様に
接する機会が多く、今のお
お客様のニーズに対応してい
くことが、私達に課せられ
た努めであり、それが会社
繁栄につながると思います。
これからもよいサービス
を提供し、地域により深く
根ざしていきたいと思っ
ています。

次回は、株エムスと竹精機の予定です。

少年の主張 堂々と発表



少年の主張発表会

「第十一回少年の主張発表大会」が十一月二十七日、働く婦人の家で開かれ、予備審査をパスした市内の小・中学生十人が発表しました。同大会は、子供たちが家庭、学校、地域社会のなかで触れ合いを通して日ごろ考えていることを発表し、地域住民がより少年の健全育成に関心を高めてもらうのが目的で開催しているものです。

- 会場には、父母や児童、生徒など約二百人が参加し、発表内容に真剣に聞き入っていました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)
- ▽市長賞—今寿美子(東小5)、小山大樹(五二中3)
 - ▽教育長賞—中川弘規(中央小6)、三浦央(五四中3)
 - ▽学警連会長賞—藤森真樹子(南小6)、須藤美香(五二中2)
 - ▽青少年問題協議会長賞—伊藤千恵(鶴ヶ岡小6)、一戸恵久美(藻川小6)、長尾麻美(三好中1)、高橋和宏(五一中2)
 - ▽保護司会奨励賞—一戸恵久美、三浦央
 - ▽BBS会奨励賞—一戸恵久美、須藤美香
- ※今大会で、市長賞に輝いたお二人の主張を四く五ページに掲載します。



「ごぎん刺しを学習して」

今

寿美子さん (東小 五年)

私たち五年生は、社会科で津軽の伝統工芸、特にごぎん刺しについて学習しました。

まず初めに、先生がごぎんの始まりと言われた「ボド」を見せてくれました。

昔の人が田や畑の仕事をするとときに着ていたそうです。今の着物と比べると、そでが短く布も何種類もよせあつめられていて、さらに二枚もぬい合わせて、よく見るとそでのところ以外、全部細かくなみぬいしてあります。

私が、去年クラブで作った小さな「しおり」のごぎん刺しでも三か月くらいかかったのに、あの大きさと私だったら一年くらいかかるかもしれないと、見た時はびっくりしました。そして昔の人はいったいどうして布を刺したのか知りたくなり、自分でも刺したところがあると書いていた私の

ひいおばあちゃんにインタビューしてみることになりました。

友達と二人で、録音の準備をして話しかけました。

「おばあちゃん、どうしていっぱい刺すの」「昔は今みたいにアノラックとかなかったから、布を刺してあつたかくしたんだよ」「だったら、どうしてあんなきれいなものができたの」「きれいなって、あれはかんたんな方だよ」と言っておばあちゃんは小屋からボドを探して持ってきてくれました。学校でみたのと同じようなボドがなんと私の家にもあつたのです。私ほ

だかとてもびっくりし、なんだかとてもうれしくなりました。

「あんなにたくさん刺すのもやうをどんな時に刺したの」「晩ご飯の後かたづけが終わった時とか、田畑の仕事のあぶく休みの時とか、少し

でもひまがあればやつたもんだよ」と教えてくれました。今、八十三歳で歌や踊りが大好きで、夜になるとテレビを見ているおばあちゃんにそんな時代があつたことをはじめて知りました。そして、ひいおばあちゃんから刺し方を教えてもらって、十四歳でお嫁にきたそうです。今だと中学二年生くらいなのでびっくりしました。

さらに歴史を調べてみたら、昔の農民はせいたくは許されず、麻しか着てはいけなかったそうです。だから、春に種をまいて秋にかりとって布を織って、その上に刺すまで一年近くもかかる麻の服なのでしんぼうして着たそうです。

このインタビュール録音を、クラスのみんなに聞かせるとみんなはびっくりしたようでした。

これまで私は、ひいおばあちゃんやおばあちゃんをうるさいなあと思つたことが何度もありました。例えば、失敗した紙を破いたり、妹が買ったばかりのおもちやをそまつにすると「わあ、もつたいなあ。それみんなお金だ。捨てるな」とか言うのです。

津軽のごぎん刺しのことを勉強して私は、今の私たちの生活と違つておばあちゃんたちの時はいろいろ苦労もあつたけど、がんばって知恵を働かせていろいろ工夫しながら物を作つてきたことを知りました。そして、おばあちゃんのような人がいたから、今私たちが幸せな暮らしができるんだなあと思ひました。

私は、こんなおばあちゃんたちがそばにいてくれることをとても誇りに思い、いつまでも長生きしてほしいと思ひます。



「祖母と戦争」

小山内 大 樹さん (五三中 三年)

「今年もまた、八月十五日がくるなあ、大樹、この日はなんの日か知っているか」と祖母は僕と二人の時、問いかけてきました。

僕はちよつと迷いながら「日本が戦争に負けた日だねが」と言うと祖母はニコツと笑い、戦争の時の生活を話し始めました。

昭和十六年、戦争が始まるうとしていた時、祖母は十五歳で僕と同じ歳でした。祖母は大変学校に行きたかったそうです。でも祖母は兄妹八人中の長女、どんなに願っても高等二年までしか入れてもらえませんでした。僕はそのことを聞いて深く考えさせられました。

僕は今、中学三年生、受験に向け勉強しなければならぬのですが、仲々勉強に手がつかず、学校に行きたくないな、勉強しなくてよければ本当によいのにと思う毎日です。それなのに勉強したくてもできないか

つたという祖母。いかに僕はわがままなのだろうと思いました。

学校に行けなかった祖母は、それから一生懸命働き、ひまをみつければ本を借り、かくれて勉強をしたそうです。

激しくなっていく戦争、祖母は十八歳で結婚し、祖母が二十歳の時、祖父が戦争へ行つたという事です。その二年間、空襲で飛行機が飛んで来る中で子供を育て、祖父の無事に帰る日を何よりも願ってくらしていたという事です。そして八月十五日、ラジオで戦争が終わつたことを知った祖母は、「あー、これで日本は平和になる。父さんが帰つて一家そろつた生活ができる」と安心の気持ちでいっぱいになったという事です。

戦後、誰もが貧乏で生活に追われていた日々、祖父と祖母は力を合わせて四十

年間六人の子供を育て、生活と戦つてきました。

祖母は僕に「大樹、今は昔と違って本当に平和な世の中だ。なんでもやろうと思えばなんでもやれる。大樹、自分のやろうと思うことを見つけて、がんばつてその道をすすみなさい」と僕の肩をたいて励ましてくれました。

そして祖母は「苦勞したけれど、生きていてよかったなあ」としみじみと言いました。

私は、この祖母の話聞いて戦争についてあらためて考えさせられました。

金をかけるばかりでなく、今なおその後遺症のため苦しんでいる人々をテレビニュースで見るたびに、戦争の悲惨さに心を暗くするしがあります。

広島では、原子爆弾で多くの人々の苦しみ、悲しみをみんなに知らせ、二度とこのような悲しい目にあつてはいけないということをは伝えるために、僕と同じ歳の少女が戦争の語りべとなつたという話を聞き感動しました。そうです、僕達は戦争を知りません。だから二度とこの様なことがないように、もつと戦争のことを知り、考えていかなければならないと思います。

「八月十五日、生きていてよかった」としみじみ言う祖母の笑顔を見て、「今の世の中をこわしてはいけません。もつともつと良くし、そして守り通すのが僕達若者の義務ではないか」と心に思いました。

みんなの教室 学習の成果を発表

市中央公民館(斎藤忠男館長)の利用者が六カ月間を通して学んできた趣味や教養の発表の場である「みんなの教室展示、発表会」が十一月二十三日午前十時から、同館で開かれました。

これは、同館が生涯学習の一環として取り組んでいるもので、学習と仲間づくりを通して得た知識、技術等を実生活の中で活用し、明るく家庭づくりに役立て

ることを目的に開いている「みんなの教室」(十二教室二百五十名参加)の学習の成果と教室相互のコミュニケーションを図るため開いているものです。

この日は、受講生一人一人作品を目標に五百点の作品が展示、発表され、五月二十日に開校以来今日までの十五回の学習を受講生全員が無事修了できた喜びを分かち合うとともに新たな活動を誓い合っていました。

盛況であった発表会(日舞教室のみなさん)



また、多くの市民が訪れその出来ばえに目を見はりながら来年は是非とも教室に参加したいとの声が多く寄せられました。

市史編纂だより 4

正月行事について

近・現代部会 成田 敏

五所川原市史の刊行にあたって、私が担当している民俗の関係では、現在、市内各所において民俗調査を実施しています。民俗調査は主としてお年寄りから昔の暮らしのさまざまな事柄について聞き取りをし、それを記録化する方法をとっています。今回は今まで行った調査の中から、五所川原の昔の正月行事の様子を紹介してみたいと思います。

昔の正月

昔の正月は今の新暦ではなく、旧暦で行われていた。今より一カ月ほど遅い時期になります。従ってこれから出てくる月日はすべて旧暦になります。

調査の際、お年寄りに正月のことを聞くと、誰でもまず最初にいうのが「昔は正月が三回あった」ということです。大正月、小正月、サントシの三回です。大正月は現在と同じで一日(元日)から始まりますが、小正月は十五日が年取りで、

十六日から始まります。そして、サントシは二月一日の一日だけで、この日は厄払いが行われました。

大正月

の行事

大正月を迎えるにはさまざまな準備がありました。門口に飾るユズリハと松を買い求め、ススハキをししました。ススハキは竹の柄にクサボウキをつけ、炉で薪を燃やして出た一年分のススを取りました。また、お供え餅や正月中に食べる餅を大量について用意しておきます。餅は「九日餅(ク

ニチモチ)はつくものでない」といって二十九日につくのを避けました。昔の正月のお供え餅は、丸い二段重ねの餅の上に小さい球形の餅を置いたものでした。大晦日は年取りの日で、

この日の夕食は家族全員に膳がつき、普段の日では食べれないご馳走を食べることができました。そして、家にある掛軸をすべて取り出して掛け、飾り付けしました。夜中過ぎになると部落のオボスナサマ(神社)へ初詣りに出かけます。また、「若水汲み」といって、普段使用している井戸から、家の亭主が水を汲みます。この時「ワカミズ汲む コガネ(黄金)汲む」と唱えました。二日は「シユウト礼」といって、若夫婦が嫁の実家へあいさつに行く日でした。ワラットに頭付きの魚と酒

小正月

の行事

十五日は小正月の年越しの日です。旧暦は月の満ち欠けを基準にしているので、この日はちょうど満月の日にあたります。小正月はオナゴの正月(大正月はオトコの正月)ともいわれます。十六日は地獄の釜のフタがあく日だといわれ、女の人にホウキも持たせず、針仕事も洗濯もさせなかったものでした。また、女の人は初詣りも小正月にしたというし、実家にも遊びに行かせてもらえたといえます。

どこの家でもケノシルを大量につくっておき、小正月中食べたものでした。これはワラビ、ゼンマイ、ワキ、ダイコン、ニンジン、

ゴボウ、マメなどの山菜や野菜にシミドウフ、コンニャク、アブラゲなどを加えて味噌で煮込んだもので、小正月には欠かせない料理でした。また、ヨモギ餅は十六日に食べるものだというい、必ず神棚にあげてから食べました。

五所川原に限ったことではありませんが、小正月にはいろいろな行事が集中して行われます。そのひとつに「イナゴ」があります。柳の枝に紅白の色付きの餅をくつつけた飾りをイナゴといい、神棚の両わきに毘布で結わえておきました。タモの木に餅をまいてつくった所もあり、これをタンボ餅とよびました。いづれにせよ、これは豊作祈願として行われる行事で、民俗学では予祝行事といわれるものです。他の予祝行事として「庭田植え」がありますが、残念なことに、かつて行っていたらしいというだけで、実際に行ったり、見たという経験者に出会っていません。

もうひとつ小正月の重要な行事に「トシウラ」、津

軽地方では一般に「ヨノナカダメシ」と呼ばれるものがあります。今年の農作物の豊凶を占うもので、「白伏せ」などがこれにあたります。小正月の年越しの晩、米粒を蒔いた盆に餅を三個のせ、白をかぶせておきます。翌朝、白を起こして餅についた米粒の状態を見ます。餅三個は稲のワセ、ナカ、オクテにあたり、どの品種が今年が良いかということ判断するものです。これに類した行事がなかったかということを確認したいと思っています。

正月行事に限らず、現在までの調査では年中行事全般についての内容が、県内の他地区に比較して希薄なように思えます。このような事柄についてよく御存知の方がおられましたら、市史編纂室まで情報をよせていただければありがたいと思っております。



私の風景

——ここが好きです

⑬

宮崎 妙 子さん

(市内鎌谷町一三三三)

「みちのく津軽の銀座」

田園都市西北五の中心地
五所川原市大町、寺町から
続く本町商店街を、私達友
人は、みちのく津軽の銀座

と驚いたものだそうです。
商店街の飾り付けは道行く
多くの人達の目を惹きませ
心に安らぎを与え、ショッ
ピングへと足を運ばせませ
白菊黄菊など沢山の菊花の
香りがたぎよっていた十一
月も過ぎ師走に入り「靴の
ヤマグチ」前と「みちのく
銀行」前に大きなモミの木
が立ちました。夕暮れと共
に、イルミネーションが、
星座をちりばめたように光
り輝きほっと一息、クリス
マス気分が誘われます。四
季折々に色どられ、時折さ
わやかな有線のバックミュ
ージックを聞きながら、ピ
ジネスにショッピングにと
一日に何回となく毎日歩い
ている、みちのく津軽の銀
座、本町商店街が好きです。



史跡 散歩 公園

⑧ 歴史民俗資料館



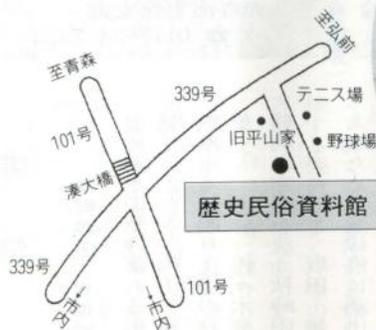
歴史民俗資料館



水害時の様子 (昭和10年)

資料の一部

先人達が築き上げた五所川原市の、自然、文化、産業などについての歴史的な資料を保管展示しています。
見学は午前九時から、午後四時まで。休館日は毎週月曜日となっています。
(入館料は大人二〇六円で、団体割引もあります)



農業委員選挙人名簿を作成

有資格者はもれなく申請を!

市農業委員会では、農業委員の選挙人名簿を作成します。

これは、法律に基づいて1月1日現在で行われるものです。

農家のみなさんは、「選挙人名簿登載申請書」を提出してください。

選挙人名簿の登載申請用紙は、12月25日ごろに行政連絡員を通じて各農家に配布します。

農家のみなさんは、申請書に記入のうえ1月10日までに行政連絡員にお渡しください。

▷選挙資格のある人

- 市内に住所があり、10アール以上の農地を耕作している世帯で、年間60日以上耕作に従事している人
- 昭和47年4月1日以前に生まれた満20歳以上

上の人で農家世帯主と同居している親族
(6親等内の血族配偶者、3親等内の姻族)
○10アール以上耕作している農業生産法人の組合長または社員(年間60日以上耕作に従事している人)

▷記入事項

- ①申請者の住所・氏名(押印してください)
 - ②耕作面積
 - ③選挙権のある世帯員の氏名・続柄(世帯主からみた続柄を記入)
 - ④生年月日
- ※申請用紙が配布されなかったり、記入上不明な点がありましたら市農業委員会(内線229・230番)へご連絡ください。

水道管の凍結にご注意を!!

—市水道事業所—

水道管は気温がマイナス摂氏4度以下になると、防寒等の不完全なものは凍結したり、破裂することがありますので次のことに注意してください。

▷水抜栓・不凍栓を備え付けの場合

長い間家を空けるようなときや就寝前には必ず水抜栓・不凍栓のハンドルをしっかり止まるまで閉め、蛇口を一杯に開いてください。

もしも凍らせてしまったら

軽い凍結の修理の仕方

- 凍結したときは、露出している管(保温筒などは取りはずす)や、蛇口などにタオル等を巻きつけ、その上からお湯をゆっくりかけると、軽い凍結ですと水が出るようになります。直接熱湯をかけたり、直火を当てたり、また電気を直接流す解氷などは、蛇口の破裂や火災の原因になりますので十分ご注意ください。
- それでも解けないときは、お近くの市指定水道工事店にお申し込みください。

※凍結防止の放水はやめてください。

凍結防止のため水を出しっ放しにすると、メーターが次第に上がり、春の検針精算の際思わぬ支出となりますので、放水はやめてください。

水を大切に



海上保安庁船艇職員等募集

▷受付締切り 12月24日(火)
▷問い合わせ 青森海上保安部
☎ 0177-34-2423

俳句

津軽鉄道 水車吟社

温め酒木の葉の落ちる影を
見て 内山 濤村

汽車走る地鳴り土堤の草紅
葉 佐々木夢衣

開病の窓辺を洗う秋時雨
坂田 雑人

あたたためて逆縁佛に酒供ふ
工藤 仙峯

俯きし行商の女息白し
渋谷 房子

唐辛子深紅に燃えて村寂び
ぬ 工藤 暁村

宝くじ手にして浮かび数え
日や 小野 雪村

後戻り出来ぬ人生五十路秋
原田 桂峰

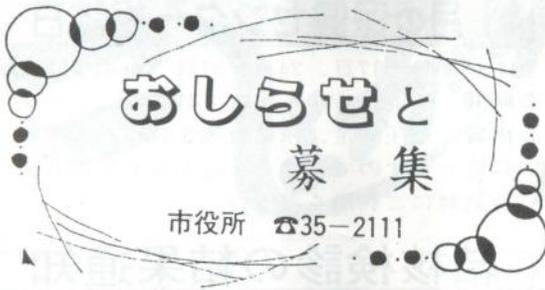
業終えて汝や吾やとつぐ温
め酒 敦賀 栢村

寡黙なる友も亦よし温め酒
三和 篁村



◆おわびと訂正

十二月一日号九頁の、人権擁護委員船水信一さんの電話番号は三七局の誤りでした。訂正しておわび致します。



飛び出そう！白銀の大世界へ

「第14回 梵珠の銀嶺にいどむ親子の つどい」

- ▷とき 平成4年1月11日(土)午後零時30分
から1月12日(日)午後1時まで
- ▷ところ 青森県立梵珠少年自然の家
(五所川原市神山)
- ▷対象者 ◎小学校3年生から中学校3年生ま
での児童、生徒とその保護者。
◎少年団体(こども会等)とその指導者。
- ▷定員 100名
- ▷経費 1人 1,900円
- ▷研修内容 ①カンジキづくり(雪の野山を歩
くのに便利な道具) ②冬の動物のくらし
③ボンファイヤー(火を囲んでのレクリエー
ション) ④プレーイング・ザ・冬山
(カンジキなどを使っての野外活動)
- ▷持ちもの 防寒具、長靴、洗面具、保険証、
上履、着替え、軍手、筆記用具(リュックが
あれば便利です)
- ▷日程(1泊2日)

時 間	1月11日(土)	時 間	1月12日(日)
12:30	受付	6:30	起床・洗面
13:00	はじめのつどい・ オリエンテーション	7:00	朝のつどい
14:00	演習 「カンジキづくり」	7:15	奉仕活動
16:30	講義 「冬の動物の暮らし」	8:00	朝食・諸準備
17:30	係活動	9:00	実技 「プレーイング・ザ・冬山」
17:45	夕べのつどい	12:00	昼食
18:00	夕食・休憩	12:45	おわりのつどい
19:00	実技 「ボンファイヤー」	13:00	解散
20:30	入浴・自由交換		
22:00	消灯・就寝		

- ▷申し込み締切りと問い合わせ
平成3年12月28日(土)
青森県立梵珠少年自然の家
〒036-06 五所川原市大字神山字殊峯117-602
☎0173 (29) 3303番

音と光の祭典 魅惑のコンサート

- ▷日時 平成3年12月24日(月)午後6時
- ▷場所 鶴常書店跡地(本町)
野外特設ステージ
- ▷プログラム ロック&フェージョン
- ▷出演団体
1 HORIZON
2 レッドハウス
- ▷入場料 無料
主催 五所川原市観光協会

マイホーム資金は年金住宅融資で (最高1,880万円) 只今申込受付中！11月5日～12月20日迄

- ☆利用できる方
厚生年金保険に加入している方で、加入期間
が3年以上ある方。
- ☆資金の用途
新築住宅、マンション・建売住宅購入資金で、
居住面積220㎡以下のもの。住宅改良は居住面
積50㎡以上のもの。
- ☆融資金額
所要資金の80%以内で、加入期間などにより
最高1,880万円まで。
- ☆融資利率
年5.71%(一般貸付)[平成3年10月30日現在]
- ☆返済期間
5年から35年まで。「ステップ返済」も利用で
きます。
- ☆申込受付期間
今年度第3回=11月5日～12月20日まで。
- ☆お問い合わせ先
県保険課・県厚生年金勤労者住宅協会
☎0177 (73) 2077へ。

平成4年 新年名刺交換会

- ▷日時 平成4年1月4日(土)午前11時
- ▷場所 市民文化会館2階
- ▷会費 1,500円(申し込みと同時に納
入ください。)
- ▷申し込み締切 12月25日(水)
- ▷申し込み先 市総務課または五所川原
商工会議所
主催 五所川原市
五所川原商工会議所
市内農業協同組合懇談会

ほけんだより 市役所 35-2111この欄の問い合わせ
保健環境課 (内線268・272)**乳幼児の健康診査**

▷場所 市保健センター

▷受付時間 12:30~12:45まで

▷持参するもの 母子健康手帳、パスタオル。
3歳児はアンケートと尿を小ビンに入れて持参ください。転入者の方、不明な点をご連絡ください。

※注意 ①6カ月健康相談につごうで来れなかった場合は、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを、母子健康手帳を持参のうえ保健環境課窓口にもらいにきてください。(6カ月、7カ月児に限る。)

②病気療養中(特に伝染性の病気)のおこさんはご遠慮ください。

月令	対象児	期日	内容
3カ月児	H3年9月生まれ	1月14日(火)	健康診査
6カ月児	H3年6月生まれ	1月21日(火)	健康相談
1歳児	H2年12月生まれ	1月27日(月)	健康相談
1歳6カ月児	H2年7月生まれ	1月28日(火)	健康診査
3歳児	S63年9月生まれ	1月16日(木)	健康診査

年末年始の『ゴミ』についてお願い

- 休み期間中は、絶対にゴミを出さないで下さい。
- ゴミ収集場所はゴミ捨て場ではありません。

市の年末・年始の業務案内

◎本庁と各支所は12月28日(土)から1月3日(金)まで休みます。

印鑑証明などは3か月間有効期間がありますので、必要な方は年末・年始休み前を利用してください。

ただし、本庁の収納課は、12月30日(月)と31日(火)午前中は窓口業務を行います。

◎西北中央病院は、12月28日(土)午後から1月3日(金)まで休み、1月4日(土)から診療を始めます。

◎水道の故障修理の受付は、五所川原市水道事

1月の保健センター相談日

- ▷1月10日、17日、24日、31日(毎週金曜日)
- ▷時間 午前10時から午後3時まで。
- ▷内容 血圧測定、尿検査等を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまでお気軽にご利用ください。

結核検診の結果通知

今年度、下記の日程で実施した結核検診の結果について、精密検査の必要な方には個々に通知していますが、今月中に通知のない方は異常がなかったものとしてご了解願います。

日 程	実施場所
9月18日~10月15日	市内一円
11月6日~11月15日	市保健センター前
11月25日~12月9日	市内一円(60歳以上の未受診の方)

製造業を営むみなさんへ……

**『工業統計調査』
にご協力を!!**

12月31日現在で実施のため、皆さまには年末年始のお忙しい中、調査員がお伺いしますので協力下さるようお願いいたします。

本調査は、我が国製造業の事業所を対象として、その実態を明らかにすることを目的とするものです。調査の結果は国や都道府県の施策立案の基礎資料とします。

◁対象 甲調査は30人以上の事業所

乙調査は29人以下の事業所

主な調査項目は事業所名、従業者数、原材料及び燃料使用料、製造出荷額などです。

▷問い合わせ 市企画調整課統計調査係(内線318)

業所中央管理センター(☎34-9111)で行います。

◎図書館は、12月26日(木)から1月4日(土)まで図書の間覧と貸出し業務は行いません。

◎市民文化会館、三道会館は、12月28日(土)から1月3日(金)まで一般開放は行いません。

◎歴史民俗資料館と市民体育館は、12月27日(金)から1月4日(土)まで、中央公民館、働く婦人の家は、12月28日(土)から1月3日(金)まで一般開放は行いません。

◎勤労者野外活動施設(狼野長根)は、12月29日(日)から1月3日(金)まで一般開放は行いません。